

第2回 第2次西尾市スポーツ推進計画 策定委員会

日時	令和5年11月14日午後1時30分～3時30分																																					
場所	市役所3階31会議室AB																																					
資料	○次第 ○資料1 第2次西尾市スポーツ推進計画の素案 ○資料2 配席図																																					
出席者	<p>■委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属・団体等</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知東邦大学 経営学部地域ビジネス学科 教授</td> <td>杉谷 正次【委員長】</td> </tr> <tr> <td>西尾市スポーツ推進委員会委員長</td> <td>羽佐田芳和【副委員長】</td> </tr> <tr> <td>西尾市スポーツ協会 会長</td> <td>辻村 和敏(欠席)</td> </tr> <tr> <td>総合型地域スポーツクラブ(マネージャー)</td> <td>田中 尚子</td> </tr> <tr> <td>愛知県中小学校体育連盟西尾支所長(一色中学校校長)</td> <td>長谷 栄次</td> </tr> <tr> <td>西尾市子ども会育成連絡協議会 会長</td> <td>植田 康裕(欠席)</td> </tr> <tr> <td>西尾市障害者福祉団体連合会 会長</td> <td>藤田 善市</td> </tr> <tr> <td>西尾市老人クラブ連合会 会長</td> <td>井関 公宏(欠席)</td> </tr> <tr> <td>西尾市内高等学校代表(一色高等学校校長)</td> <td>手嶋 修一</td> </tr> <tr> <td>西尾を歩こうウォーキング代表</td> <td>成瀬 隆比古</td> </tr> </tbody> </table> <p>■アドバイザー</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>西尾市政策専門委員</td> <td>杉戸 厚吉</td> </tr> <tr> <td>西尾市経営改革専門委員</td> <td>槇野 孝和</td> </tr> </tbody> </table> <p>■事務局</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>交流共創部長</td> <td>石川 孝次</td> </tr> <tr> <td>交流共創部スポーツ振興課長</td> <td>高須 清和</td> </tr> <tr> <td>交流共創部スポーツ振興課長補佐</td> <td>高須 伸一</td> </tr> <tr> <td>交流共創部スポーツ振興課長補佐</td> <td>神谷 法子</td> </tr> <tr> <td>交流共創部スポーツ振興課長補佐</td> <td>倉谷 和成</td> </tr> </tbody> </table> <p>傍聴 0名</p>		所属・団体等	氏名	愛知東邦大学 経営学部地域ビジネス学科 教授	杉谷 正次【委員長】	西尾市スポーツ推進委員会委員長	羽佐田芳和【副委員長】	西尾市スポーツ協会 会長	辻村 和敏(欠席)	総合型地域スポーツクラブ(マネージャー)	田中 尚子	愛知県中小学校体育連盟西尾支所長(一色中学校校長)	長谷 栄次	西尾市子ども会育成連絡協議会 会長	植田 康裕(欠席)	西尾市障害者福祉団体連合会 会長	藤田 善市	西尾市老人クラブ連合会 会長	井関 公宏(欠席)	西尾市内高等学校代表(一色高等学校校長)	手嶋 修一	西尾を歩こうウォーキング代表	成瀬 隆比古	西尾市政策専門委員	杉戸 厚吉	西尾市経営改革専門委員	槇野 孝和	交流共創部長	石川 孝次	交流共創部スポーツ振興課長	高須 清和	交流共創部スポーツ振興課長補佐	高須 伸一	交流共創部スポーツ振興課長補佐	神谷 法子	交流共創部スポーツ振興課長補佐	倉谷 和成
所属・団体等	氏名																																					
愛知東邦大学 経営学部地域ビジネス学科 教授	杉谷 正次【委員長】																																					
西尾市スポーツ推進委員会委員長	羽佐田芳和【副委員長】																																					
西尾市スポーツ協会 会長	辻村 和敏(欠席)																																					
総合型地域スポーツクラブ(マネージャー)	田中 尚子																																					
愛知県中小学校体育連盟西尾支所長(一色中学校校長)	長谷 栄次																																					
西尾市子ども会育成連絡協議会 会長	植田 康裕(欠席)																																					
西尾市障害者福祉団体連合会 会長	藤田 善市																																					
西尾市老人クラブ連合会 会長	井関 公宏(欠席)																																					
西尾市内高等学校代表(一色高等学校校長)	手嶋 修一																																					
西尾を歩こうウォーキング代表	成瀬 隆比古																																					
西尾市政策専門委員	杉戸 厚吉																																					
西尾市経営改革専門委員	槇野 孝和																																					
交流共創部長	石川 孝次																																					
交流共創部スポーツ振興課長	高須 清和																																					
交流共創部スポーツ振興課長補佐	高須 伸一																																					
交流共創部スポーツ振興課長補佐	神谷 法子																																					
交流共創部スポーツ振興課長補佐	倉谷 和成																																					

1 あいさつ

発言者	内容
高須課長	<p>本策定委員会は公開としています。また、議事録作成のために、録音と写真撮影をいたします。(資料の確認-略-)</p> <p>会議に先立ちまして事務局からご連絡申し上げます。本日はスポーツ協会会長の辻村委員、老人クラブ連合会会長の井関委員は欠席と伺っております。植田委員もお見えになっていませんけれども、本日の会議は欠席が3名ということで、西尾市スポー</p>

発言者	内容
	<p>ツ推進計画策定委員会規則第6条第2項に基づき、過半数の出席がございましたので会議は成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、杉谷委員長からご挨拶申し上げます。</p>
杉谷委員長	<p>本計画につきましては、さる8月8日に第1回西尾市スポーツ推進計画策定委員会におきまして、「計画策定の進め方」、それから「現計画の進捗状況」、さらに「スポーツ推進計画の骨子(案)」をこの会議で説明させていただきました。各委員からいろいろなご意見を頂戴しておりますけれども、その後、事務局のほうで、9月から10月にかけて、現計画の進捗状況を整理するとともに、障害者スポーツの実態について西尾市社会福祉協議会に聞き取りを行いました。それらをもとに、計画素案を作成し、福祉課、健康課、生涯学習課など10課で構成する庁内検討会議メンバーからの意見も踏まえ、加除修正を行いました。本日の計画(素案)はこれらの意見、要望等をまとめたものとなっております。</p> <p>委員の皆様には郵送にて事前に資料が送付されておりますので、目を通していただいているかと思っておりますけれども、本日は事務局より説明をしていただきますので、それに対して忌憚のない意見をいただきたいと思っております。</p>
高須課長	<p>それでは、以後の議題の取り回しにつきましては、杉谷委員長にお願いいたします。</p>

2 議題

発言者	内容
杉谷委員長	<p>「議題(1)第2次西尾市スポーツ推進計画の素案について」を議題といたします。計画素案は第1章から第5章で構成されております。非常に長いものとなっております。従って、第1章から第2章と第3章から第5章の2つに分けていただきご説明をお願いいたします。それでは、第1章から第2章の説明を事務局お願いいたします。</p>
高須課長補佐	<p>事務局より第1章から第2章についての説明(-略-)</p>
杉谷委員長	<p>「議題(1)第2次西尾市スポーツ推進計画の素案 第1章計画の策定にあたって、第2章スポーツ推進の現状と課題」、これらの説明がなされました。委員の皆さん特にご意見、ご質問等ございましたらよろしくお願ひしたいと思います。</p>
手嶋委員	<p>資料、データに関する質問です。22ページ、「図表2-2-5 スポーツの種類別スポーツをする場所」の「N(回答数)=592」となっていますが、593の誤りではないでしょうか。</p>
高須課長	<p>22ページの「図表2-2-5 スポーツの種類別スポーツをする場所」については593の誤りと思われますので修正します。</p>
手嶋委員	<p>23ページの「図表2-2-6 スポーツをする理由」では、世代別にパーセントで示されていますが、回答数593の年代別の内訳はどこかで示されますか。高等学校の立場で参加している関係で、10歳代がどれくらいか気になりましたのでお願ひします。</p>

発言者	内容
高須課長	手元に資料がないので、あとで調べて報告させていただきます。
手嶋委員	32頁の(1)②になりますが、標題に「スポーツ無関心層」とありますが、「忙しくて時間がない」「きっかけや機会がない」といった人も含めて「スポーツ無関心層」と表現して良いのかが気になりました。言葉が少しきつい気がしますので、()内の「スポーツする習慣がない層」という表現で良いのではと思います。
高須課長	ご指摘の通りかと思います。ふさわしい表現に改めたいと思います。
杉谷委員長	忙しくない方でも無関心の方はいらっしゃるし、いろいろなことがあると思います。事務局の方で表現の方を精査していただいて修正してください。
藤田委員	アンケートについてですが、なぜスポーツ嫌いになったのかなど、なぜというところをもう少し掘り下げて質問すれば、本当の理由がつかめるのではないかと。
高須課長	スポーツをしない理由については、24ページの「図表2-2-7 スポーツをしない理由」でたずねています。ここを見ていただくと、「忙しくて時間がない」「きっかけや機会がない」「興味がない」「スポーツが苦手」などがアンケートでは示されています。もう少し踏み込んだイメージでしょうか。
杉谷委員長	事務局からの回答は出ましたけれど、スポーツをしない理由としてのこのグラフを見ていただいた時に、個別にこういう理由でパーセンテージが記載されています。
藤田委員	24ページがスポーツをしない理由の内訳ってことですね。
杉谷委員長	これ以上何か必要と言うことであれば、藤田委員からお示しいただければと思いますが、よろしいでしょうか。
藤田委員	はい。
長谷委員	9ページの「図表2-1-7 小学生・中学生の体力・運動能力調査の結果」をみると、本市の結果は、そう著しくではないですが全国値を下回っています。このことは分かっていますが、改めてこうして見ると衝撃的という面もあります。 原因は中学校の運動部活動の地域移行・縮減かと思いきや、小学校の段階から全国値を下回っていて、それが中学校につながっていることが分かります。運動習慣が不足しているという現状は学校でも把握していることで、小学校なら放課の遊びの充実に力を入れています。また、体育の授業の中で日常的に体力がつくような授業にも取り組んでいるところです。 「現状と課題」のところなので、小中学校でも日常的な取組を行っているということについて少し触れていただければと思います。感想です。
杉谷委員長	現場を一番よく知っている先生の意見ということもございますので、今、長谷委員の方からできればこういうことも付け加えてほしいという意見でございましたけれども、事務局の方、いかがですか。
高須課長	記載を検討して参ります。
石川部長	他の項目では、「…求められます。」といった表現をしているところもありますので、一行くらいの文章で検討して入れたいと思います。
杉谷委員長	持ち帰っていただいて、事務局で整理していただきたいと思います。

発言者	内容
成瀬委員	<p>ウォーキングの代表として、行ったスポーツの種類でウォーキングが大きな割合を占めていて驚いています。西尾市の場合、八ツ面山はウォーキング環境として良いので、市外からも車で来て沢山の人が歩いています。また、一色、吉良にもウォーキングコースが盛んに整備された時期があり、よく紹介されていましたが、今はほとんど分からなくなっています。県のコースも実際ありますが有名無実になっています。</p> <p>ウォーキングの会で、みんなで歩くといいなと思える場所は案外少ないです。八ツ面山を除くと、駐車場があつてそこを起点に歩くといい場所はないのです。「歩くといいね」と言っているだけではウォーキングは広まっていけないと思います。</p> <p>「オクトーバーラン&ウォーク」はレベルが高すぎて、みんなが日常的に歩くものとしては適していないかなと思います。また、子どもの国は歩くには適しているのですが、駐車料金がかかるので、気軽には集まれません。ウォーキングを普及していくのであれば、歩く環境整備についても必要かと思っています。</p>
高須課長	<p>私も感じています。すぐに整備しますとは言いつらいですが、方向性については必要であると思っています。</p>
榎野アドバイザー	<p>ハード整備の検討の中で、野球場の整備とかの話とともに、ウォーキングについての分析もあつて、環境整備についての意見も出ました。ただ、歩け歩けで、環境整備とは関係ないというニュアンスの意識があるので、具体的に計画に入れ込むべきと私も意見をしました。</p> <p>結論としては、スポーツ推進計画でも入れていきましょう、都市づくり計画、例えば河川整備計画の中にも入れていきましょうとなりました。各部局の連携が必要になることなので、それぞれで検討していきましょうということでした。私としてはそれを信じていますということですね。今、予算の時期となっています。各部局が計画に入れていき、一步一步進めて欲しいと思っています。</p> <p>岡崎市の健康の森は、八ツ面山の3倍、4倍の規模で、無料の駐車場もあり、土日、平日夕方は多くの方が歩いています。そのようなイメージかと思っています。</p>
石川部長	<p>現在、駿馬の方にテニスコートを整備しています。その外周をウォーキングコースとして、健康器具なども設置していくことになっています。</p> <p>本計画はソフト面の計画となり、まちづくりビジョン2040がハード面の計画となります。ウォーキングコースではないですが、環境整備をあわせて検討していくという文言は2040に掲載されていると思います。</p>
藤田委員	<p>以前は市の方から予算が出るということで、市内を8ブロックに分けて、私のところは今川町、矢曾根町など8町ありますが、中学校をスタートして5kmのコースを設定して、町内に声かけて100～120名くらいが行事と一緒に毎年歩いていました。</p> <p>予算をいただければ、今でもやるのではないかと思います。今はやめてしまいましたが、再び立ち上げることを考えてみてはどうでしょうか。</p>
高須課長	<p>市からどんな補助が出ていたのですか。</p>
藤田委員	<p>分からないです。</p>

発言者	内容
杉谷委員長	<p>イベントでウォーキングと行うということではなく、日常的なウォーキングの習慣を定着させていくことを考えていく、気軽に市民がスポーツできる環境整備を進め、あわせてソフト面として広報活動することが理想かと考えます。</p> <p>イベントで年に1回というのではなく、日常的な環境整備を進めていくことが健全なあり方かと思えます。個人的意見になります。</p>
成瀬委員	<p>私どもの会ですが、元は健康推進委員会で、その中で歩くことがやりやすいということで歩こう会に変わりました。当初から長寿課、保健センター職員が関わっていましたが、自分たちから離れたくてグループ化を勧められました。</p> <p>しかし、私たち事務的なことは弱いので、今も保健センターの職員に関わってもらっています。市の職員から切り離してボランティア団体に投げかけようとしていないか、そこを心配します。市の職員にも関わりながらやってもらえるとありがたいかと思えます。</p>
杉谷委員長	<p>要望としてお聞きしておきたいと思えます。</p>
杉戸アドバイザー	<p>33ページの「①新たなスポーツツーリズムの推進」についてです。今回市制70周年記念事業で、民間団体が提案して市が補助して色々な事業が行われています。その中に、子どもを対象にスポーツを取り入れたイベントがいくつかありました。子どもが参加しやすいイベントとして、スポーツ要素はとても魅力的な要素、人が集まりやすい要素だと思います。「スポーツツーリズムの推進」というタイトルになっていますが、市外の人との交流だけでなく、市民同士・親子の交流でもスポーツは重要な意味を持っているということをしかりと打ち出せればと思います。</p>
高須課長	<p>新たに1項目起こしてはどうかというご意見になりますか。</p>
杉谷委員長	<p>スポーツを活かした市民の交流という意味を含めたいというご意見と理解しました。</p>
杉戸アドバイザー	<p>「スポーツツーリズム」だと市外の人を対象になってしまうので、項目のタイトルを「スポーツを活かした市民の交流の促進」と変えるだけでも良いかと思えます。</p>
榎野アドバイザー	<p>「スポーツツーリズム」という言葉は残したいですね。</p>
杉谷委員長	<p>「スポーツツーリズム」は外部からお客さんをお呼びして活性化してお金を稼ぐという面がありますから、それと市民の交流をどのように結びつけるかについては、一度事務局でご検討いただくことでよろしいでしょうか。</p>
杉戸アドバイザー	<p>昔はスポーツを活かしたコミュニティの活性化ということで、地域単位でソフトボールなど行っていましたが、今は難しくなってきたので、イベント的な要素で市民同士の交流を促進することが必要かと考えます。</p>
杉谷委員長	<p>例えば、静岡県では少年サッカーの全国大会を開催し、地元のサッカー少年団との交流とかを積極的に行っています。地元同士でなく外から来たスポーツ団体との交流を積極的に取り組んでいるところもあります。</p> <p>「市民同士の交流」について事務局でご検討ください。</p>

発言者	内容
高須課長	課題のところで上げる必要はなくて、市民同士の交流の内容が盛り込まれると良いと理解してよろしいですか。
石川部長	「連帯感の醸成」という文言は入っているので、「スポーツツーリズム」が文章の中に入っていれば、タイトルは「スポーツツーリズムの推進」でなくても良いということですね。
杉戸アドバイザー	「スポーツツーリズムの推進」というタイトルにしておいて、市民も巻き込んだ交流の視点で、文章を書き加えることでも良いかと思います。
田中委員	<p>10ページ、「図表2-1-8 にしおチャレンジみらい塾」に募集人員の記載がありますが、実際、参加している子どもたちの数字はわかりますでしょうか。</p> <p>また、33ページの「新たなスポーツツーリズムの推進」についてですが、西尾市はドッジボールがさかんで全国的にもレベルが高い地域です。全く個人的な意見ですが、全国レベルのチームがあるのだから、西尾市で全国大会を開催できないかと思うのです。吉良には民宿もあるので宿泊場所として活用していけば、全国大会もできるのではと思いました。</p>
高須課長	現在進行形ですので募集人員としています。
石川部長	分かれば提示させていただきます。
田中委員	<p>スポーツクラブいっしきでもスポーツ教室を行っています。人気の教室とそうでない教室がありますので、今後の参考にさせていただきたいです。</p> <p>子どもの体力・運動能力の結果がありました。運動している子はしているのに、運動していない子をどうにかしないといけないと感じています。</p>
榎野アドバイザー	<p>課題のところで財源の裏付けはどうなっているのかと思います。前回の資料には計画の目標があって、達成したもの、達成していないもの、やめたものについて記載がありました。</p> <p>スポーツ協会、運動団体、任意のクラブなど、スポーツ活動を支えている団体がありますが、そうしたところがやりたくても予算がなくて活動できない、そうした部分が多分課題としてあるのだらうと思います。</p> <p>現状と課題のところで表現することは難しいとは思いますが、予算、活動費的なものを認識されて、各団体とうまくいっているのか、どのような傾向があるのかどうかをつかんだ上で、第3章以降に入ってほしいと思います。</p>
杉谷委員長	財政面での課題はどうかとのご質問になります。
高須課長	課題のところで表現すべきかどうかは分かりませんが、ここで上げている施策は現状やっているものがあり、新たなものでも全く不可能なものはあげておりません。それなりの予算は付くという現実的なところでの計画としています。
榎野アドバイザー	今までの枠内の予算でここに上げている施策を進めるとなると破綻するのではと心配します。足りないと思うので、そこのところで知恵を絞らないといけないと思います。

発言者	内容
石川部長	<p>ふるさと納税、企業版ふるさと納税の一部を事業費に充てるとか、国・県の補助を取りにいくとか工夫は必要になってきます。ふるさと納税であれば、一般の方の理解のもと、どういうふうに寄付してもらうかは課題となってきます。</p>
羽佐田委員	<p>国、県、市と計画がありますが、国も県も目標の第一は成人のスポーツ実施率70%となっていますので、実施率70%にするにはどうしたらいいかを考えることかと思えます。実施率は週に1回以上、1回15分以上運動すれば、「実施した」にカウントされることになっています。調査の段階でそのことを周知すれば、現状の実施率はもっと上がっていくのだろうと思えます。</p> <p>一般論で262の法則があります。2は“やる”、6は“誘われればやる”、2は“何があってもやらない”という考え方です。そのうちの2と6をあわせていかに70%に近づけていくか、大きな目標をつくらないといけないと思えます。</p> <p>取組として一番簡単なものはウォーキングということであれば、西尾市がウォーキングについて、一項目（情報を集約したもの）つくってもらって見てもらえば、市民も参加してみようと思うのではないのでしょうか。そうした方法をとってもらえればと思います。</p> <p>金がなければ知恵を出せ、知恵もなければ汗をかけといわれますが、昨今は、多くのボランティアさんが活動しています。お金のかからない活動・組織にしていくことも必要です。</p>
高須課長	<p>確認しましたが、ご指摘の通り1回15分以上でカウントされるということです。</p>
羽佐田委員	<p>車で通勤しているところを、自転車にのる、歩くに変えればカウントされるので、周知すれば率は自然と上がるかなと思えます。</p>
杉谷委員長	<p>議論が盛り上がりまして、時間が押していますので、続きまして第3章～第5章の説明を事務局お願いします。</p>
高須課長補佐	<p>「資料1：第2次スポーツ推進計画策定の進め方について」 第3章～第5章について説明（-略-）</p>
杉谷委員長	<p>先般の回答が含まれている部分もありますが、ご意見お願いいたします。</p>
榎野アドバイザー	<p>37ページの「3-3 成果指標」ですが、これでいいのかどうしても気になります。ここで上げられている成果指標は上位計画で決めたものなので、それはいいのですが、本計画で整理している現状分析の課題と具体的目標とが結びついていません。例えばスポーツ実施率70%達成とか、30歳代・40歳代のスポーツ実施率が低いとかの課題と結びついていないです。総合計画で定める上位目標とは別に具体的目標を考えるべきではないでしょうか。</p>
高須課長	<p>安易に成果指標を総合計画にならって設定したところがあります。今一度課題解決できたかどうか分かる指標を考えたいと思えます。</p>
榎野アドバイザー	<p>今の上位目標は残してもらって良いと思えます。これに加えて、是非とも達成すべきものは何かもう一度整理していただければと思います。</p>

発言者	内容
杉谷委員長	すべての課題に対応するというのではなく、課題に対する目標の中でも中心になるもの、重点的に行いたいものについて、成果指標を再検討いただきたいと思えます。
手嶋委員	高等学校の代表として参加しておりますので、高校生をターゲットとしたときにどこが関わってくるのか分かりづらいなと感じました。計画ができたときに高校生たちにどの部分を働きかけようとしているのか教えていただきたいです。
高須課長	<p>施設の利用を促しながら、スポーツに親しんでいただくところでは関係してきますが、確かに高校生に視点を絞った具体的な記載はありません。</p> <p>実際のところは、高校生でもバドミントンやバスケットボールなどの競技団体に加盟していると思えます。それぞれの競技団体を通じて活動を支援しています。</p> <p>高校生について具体的に記載した方が良いでしょう。</p>
手嶋委員	具体的な施策となると、高校は県立なのでどうしても抜けてしまいます。
榎野アドバイザー	<p>高校生以上は普段の活動、生活においては大人と認めているのだと思えます。</p> <p>一般の若い人たちの運動に対する習慣を考える中で、高校生も同じことをやるのではないかと思います。日頃からどう習慣づけるか、高校生でも大学生でも同じかなと思えます。個人的見解ですが、高校生を特別に抽出すると、この計画の根本的な骨の部分と違うところになってしまうのではという気がします。</p>
杉谷委員長	<p>高校生限定ではないですが、競技団体等に高校生が入っている場合、それなりに活動されていると思えます。また、総合型地域スポーツクラブなどでは、先輩が後輩を指導していく、育った人間が指導者として関わっていくということが1つの事例になるのかなと思えます。</p> <p>高校生は大人の扱い・カテゴリーになるかと思えますので、高校生というキーワードを使って記載するのは難しいのではという印象です。</p>
石川部長	39ページの「基本施策1-1 スポーツ参画人口の拡大」で、高校生を入れるという方法はあるかと思えます。「基本施策1-3 子どものスポーツ活動の充実」に含めるのはどうかと思えます。
杉谷委員長	ご指摘いただいた点ですが、高校生について何らかの記載を加えますか。
高須課長	高校生に限らず大学生も含めて一度検討させていただきます。
杉戸アドバイザー	<p>49ページ、「4」スポーツ大会の開催支援体制の充実」のところですが。主な取組として、地元企業や経済団体等との連携による支援体制づくりとありますが、その中に含まれるのかもしれませんが、例えば、大会の誘致の窓口、誘致に対する支援制度、例えば会場費の無料化といったような支援制度が、今の西尾市にはありません。誘致体制と開催支援制度を意識しておく必要があると思えます。</p> <p>次に、50ページ、「基本施策4-2 推進体制の整備・充実」に、2つの施策方針が記載してあります。一方、本計画の随所に指導者の育成について記載があり、17ページにもリーダーズ（指導者）バンクの有効活用について記載があります。それぞれの目的に応じて指導者育成は必要ですが、全体として指導者情報を共有して、それぞれに応じ</p>

発言者	内容
	<p>て指導の紹介、指導者派遣をしていくしくみ、言わば「リーダーズ（指導者）バンクの機能強化」といった内容を盛り込むべきかと思います。入れるなら50ページあたりかと思いました。</p> <p>51ページ、「5-1 計画推進のための役割」のところで、それぞれの団体の役割が書いてありますが、西尾市観光・スポーツ・文化共創会議（TSCボード）の役割が抜けていることが気になりました。</p> <p>また、先ほどの榎野アドバイザーから財源の話がありましたが、70周年記念事業は企業の協賛で実施しているところも多かったので、今後も、民間との連携で実施していくこともあり得ると思います。行政の資金、団体の自己資金に加え、民間企業と連携して実施していくことについて記載があっても良いかと思います。計画の推進の項のどこかで、様々な団体との連携、多様な主体との連携について触れてはどうでしょうか。資金の問題を含め連携が必要になってくると思います。</p> <p>最後に、37ページに成果指標がありますが、成人のスポーツ実施率70%が前提としてあって、その上で各目標となる指標があるとの理解でよろしいでしょうか。</p>
高須課長	<p>49ページのところ、誘致体制と開催支援体制についてです。スポーツ団体が個々に開催している大会は別にして、大きい大会については話があってそれを受けているのが実態です。アジア競技大会もしかりです。</p> <p>そのための支援ですが、協会に加盟していると先行予約を受けたり、会場費を安くしたりするなどの支援を現状でも行っています。ただし、ここで細かく書けないので支援としています。</p> <p>2点目にご指摘の、リーダーズ（指導者）バンクの機能強化については、考えていきたいと思いました。</p> <p>3点目の、TSCボードについては追加します。TSCボードを一つの組織として記載した方が良いということでしょうか。</p>
杉戸アドバイザー	<p>連携体制といったところで整理する方法もあるかと思います。</p>
杉谷委員長	<p>組織というより、TSCボードという手法を使ってといった記載になるかもしれませんがいかがでしょうか。</p>
杉戸アドバイザー	<p>TSCボードの中には産業界も入っていますので、競技団体、スポーツ協会、企業とかの連携を進める組織という役割があります。そのため、新たに「多様な主体との連携」という項目を起こして、そこにTSCボードを位置づけるという整理の仕方はあるかと思います。</p>
高須課長	<p>整理の仕方は考えたいと思います。最後の点、37ページの指標についてですが、スポーツ実施率70%は国も県も目標としておりますので、それは前提としてめざしていきます。そこをめざしていくための指標ととらえていただければと思います。</p>

発言者	内容
杉戸アドバイザー	K G I と K P I のように、2段階の目標設定もあり得ると思います。最終目標としてスポーツ実施率70%を掲げて、加えて37ページの指標や、先ほど槇野委員からご指摘のあった指標を加えても良いと思います。
杉谷委員長	37ページの指標は再整理して記載するというので、事務局でご検討ください。計画素案について、本日、たくさんのご意見・ご質問いただきましたが、いただいた意見を最大限活かして資料を整理していただきたいと思います。

3 その他

発言者	内容
高須課長	<p>今後のスケジュールにつきましては、次第に記載のとおりですが、本日、委員の皆様から頂戴しました御意見につきまして計画に反映させ、令和6年1月9日市議会の文教交流部会に議題を提出し、1月10日から1月22日の期間、パブリックコメントを実施したいと考えています。</p> <p>次回の委員会は、令和6年2月13日（火）午後1時30分から開催を予定しております。なお、第3回策定委員会終了後、日時は現在調整中ですが、委員長から教育長へ「第2次西尾市スポーツ推進計画」策定の答申を予定しております。</p>

以上